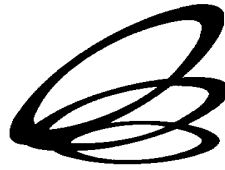


投資サービスセンター

投資委員会事務局

首相府



INVESTMENT SERVICES CENTER

THE BOARD OF INVESTMENT

OFFICE OF THE PRIME MINISTER

555 VipavadeeRangsit Road, Chatuchuck 10900 Tel. 0 2553- 8111, Fax : 0 2553-8222

プレスリリース/ PRESS RELEASE

第 48/ 2567 (Aor. 17) 号

2024 年 5 月 2 日

**B0I は第 1 四半期の投資金額が 2, 280 億バーツとなっており
投資の黄金期に向けて成長を続けていることを明らかにした。**

B0I は、2024 年第 1 四半期の投資奨励申請がプロジェクト件数も投資金額も前年比で大幅に増加したことを明らかにした。奨励申請件数は 724 プロジェクトに達し投資金額は 2, 282. 07 億バーツとなり 31%増。エレクトロニクスをはじめ、自動車および部品、石油化学および化学品といった産業が増えた。海外直接投資 (FDI) に関してはシンガポールが第 1 位、次いで中国、香港となっており、タイの可能性を反映し、投資の黄金年に向けて前進している。

投資委員会 (B0I) 長官のナリット・テートサティーラサック氏は、第 1 四半期にはタイへの投資の方向性は依然として良好であり継続的に成長しており、奨励申請、奨励認可、奨励証書発給のあらゆる段階で投資促進が増加し、プロジェクト件数も投資金額も増加していることを明らかにした。2024 年第 1 四半期の投資奨励申請は **724 プロジェクト** で前年同期比 **94%増** となり、投資総額が **2, 282. 07 億バーツ** で **31% 増** となっており、タイの可能性および投資家の信頼の高まりを反映している。これはタイ政府が世界中の有力企業からの投資誘致を促進していること、貿易および投資の問題を真剣かつ継続的に解決していること、そして B0I の様々な分野における投資奨励措置を発表した結果である。また、地政学的紛争のリスクを軽減するために生産拠点移転の傾向に影響され、AI の普及や様々な組織のデジタル変革を支援するために電気自動車および部品、半導体および電子基板、再生可能エネルギー、大規模データセンターなど、世界のトレンドに沿って新産業や新技術への投資も盛んに行われている。

投資金額が最も高い上位 5 つの産業はエレクトロニクスおよび電気製品が 771. 94 億バーツ、次いで自動車および部品が 213. 28 億バーツ、石油化学および化学品が 176. 72 億バーツ、デジタルが 174. 98 億バーツ、農業および食品加工が 132. **78** 億となっている。なお、最も投資金額が最も高いエレクトロニクス産業に関しては殆どはプリント回路基板 (Printed Circuit Board: PCB) の製造事業、パワーエレクトロニクス用の炭化ケイ素の上流半導体 (Wafer Fabrication) の製造事業、スマートエレクトロニクス製品およびスマート電気製品の製造事業が行われている。

海外直接投資（FDI）は継続的に拡大している。奨励申請プロジェクトが 460 プロジェクトあり 130% 増となり、投資総額は 1,693.22 億バーツで 16% 増となっている。奨励申請額が最も高い上位 5 か国/経済開発区は、シンガポールが 425.39 億バーツ、中国が 346.71 億バーツ、香港が 265.73 億バーツ、台湾が 199.6 億バーツ、そしてオーストラリアが 172.48 億バーツである。シンガポールの投資金額が高くなっているのは、中国系企業が親会社であるシンガポール企業による電子回路基板（PCB）の製造への大規模投資によるものである。

地域的には、投資金額の大部分は中部地方で 300 プロジェクトあり 976.51 億バーツ、次いで東部地方が 951.12 億バーツ、北部地方が 176.65 億バーツ、北東部地方が 78.49 億バーツ、南部地方は 70.45 億バーツ、西部地方は 28.85 億バーツとなっている。

さらに、**産業高度化措置（Smart and Sustainable Industry）**に基づく奨励申請は、2024 年の第 1 四半期に徐々に関心が高まっている。奨励申請が 105 プロジェクトあり 36% 増となり、投資総額は 5,713 百万バーツで 28% 増となっている。殆どは省エネおよび代替エネルギー使用、次いで機械入れ替えおよび生産ラインでの自動化の導入への投資である。

2024 年第 1 四半期の**投資奨励の認可**に関しては 785 プロジェクトあり、総投資額は 2,549.28 億バーツで 6% 増となっている。これらのプロジェクトにより、国の輸出金額が年間 6,000 億バーツ以上増加し、国内原材料が年間約 2,400 億バーツ使用され原材料総額の約 50% を占め、約 50,000 人のタイ人の雇用が創出されると予想されている。実際の投資に最も近いステップである**奨励証書発給**についても大幅に増加の 647 プロジェクト。投資総額は 2,569.3 億バーツで 107% 増となっている。

「このタイミングが大事で、タイにとって長期的にタイ経済の基盤を築くために新たなターゲット産業への投資を誘致する絶好の機会でもある。私たちは、タイが地域の投資の中心地となる可能性を秘めていると信じている。特にインフラ、電力の安定性およびクリーンエネルギーの利用可能性、強力なサプライチェーン、人材の質、良い環境、外国人の経営者と専門家が働き生活するのを促進する要素、そして政府の支援措置も含めてタイは多くの面で優れている。この第 1 四半期には、電気自動車、上流半導体、大規模データセンター、ASEAN 最大のバイオリファイナリープロジェクトとなる工業用の酵素の製造プロジェクトなどタイで多くのプロジェクトにおいて重要な投資が行われている。これはタイが未来産業の基盤を構築する準備が整っていることの証拠となり、タイが世界のトレンドに沿った新たな方向への投資にうまく対応できることを示している。」とナリット氏は述べた。

“BOI は全投資規模、タイと外国の両者を投資奨励する”



@boinews



BOI News



BOI News



BOI Podcast



YouTube

Think Asis, Invest Thailand